小田原市報

第45号
発行所 小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人 石井重治
印刷所 株式会社 共同印刷
定価一部三円

市議会十一月臨時会

一般会計追加更正予算 三千四百九十八万二千九百円

市議会十一月臨時会は、十六日午後一時三十四分開会、会期を一日と定め別掲の日程により審議に入つた。

会議は先ず日程第一市会議案第百五号から日程第十五市会議案第百十九号までの十五件を一括議題に供しこれに対し市長から夫々提案理由の説明があり、うち、各予算案については大略次のような説明が行われた。

今回提案の一般会計追加更正豫算は、歳出において土木、教育産業経済等の緊急事業その他当面必要な諸経費三千四百九十八万二千九百円を追加計上し歳入としては電氣ガス税、競輪事業益金収入等充当した旨、次に競輪事業特別会計豫算については、開催回数の一回増加及び過去の売上実績に鑑み追加更正を行つた旨、水道事業特別会計豫算については本年度事業分起債枠の擴大に伴う事業費の増加分、國民健康保険事業特別会計豫算については歳入において療養給付費に對する國庫補助金の増加を見込み、歳出において受診率の向上に伴う療養給付費の増□を計上した。

ついで質疑に入り▲建設整備途上にある水道事業特別会計の財政的窮状に對する当局の方途について▲飯田岡橋架替工事について▲山王小学校増築工事について▲市道の維持管理について▲庶民住宅の敷地買収について▲教育費のうち教材費の豫算計上について▲学校給食費起債について▲学校関係研究会補助について▲工事請負について▲山王小学校入口道路について▲中学校建設計画について▲第一中学校豫算外義務負担について▲市道山王原久野線バス開通について▲職員の超過勤務手当について▲秋まつりについて▲市道補修費の増額計上について▲供米促進費について、など市政諸般にわたる質疑があり、熟議の結果、各議案共原案の通り可決確定した。

次に日程第十六市会議案第百二十号から日程第十八市会議案第百五十二までの市道路線の認定、認定變更、廃止に関する各議案を一括上程、農道▲中宿諏訪原線の市道編入理由について質疑があつた後、各議案共原案の通り可決確定した。

更に日程第十九（市会諮問第六号）固定資産評価審査委員会委員選任については、原案の通り岡部佐四郎氏再任に同意することに決定し、午後六時二十分閉会した。

新條例の概要

◇小田原市職員退職手当の臨時措置に関する條例の一部を改正する條例

國家公務員の退職手当の額が從來より若干引き上げられ八月一日以後の退職から適用されることになつたので、本市職員の退職手当についてもこれに準じて引き上げの措置を行つたもの。

◇小田原市吏員退隠料及び退職給與金、死亡給與金並びに弔祭料及び遺族扶助料條例臨時特例條例の一部を改正する條例

八月一日施行の「恩給法の一部を改正する法律」の措置に準じ、國家公務員の恩給にあたる本市吏員の退隠料について同様の改正を行つたもの。内容としては若年者に対する退隠料停止の年齢について從來より五歳引き上げたことと、多額所得者に對する退隠料停止についてその停止せらるべき所得額に變更を加えたことなどです。

◇小田原市國民健康保険條例の一部を改正する條例

療養給付期間（同一傷病について保険によつて療養を受けられる期間）を從來の二年から三年に延長し、長期療養者の福祉を図つたもの。

追加更正豫算の概要

28. 11 16 議決（一般会計）

歳入の部	34.982.900円
◇ 電氣ガス税過年度分	1.819.687
◇ 競輪事業收益金繰入	12.000.000
◇ 國庫支出金	3.821.478
◇ 市債	16.500.000
◇ 県支出金、寄附金、雜收入	841.735
歳出の部	34.982.900
◇ 土木費（飯田岡橋架替工事、小田原足柄線道路工事、失業対策事業線新玉線街路舗装工事、災害復旧工事、小田原漁港修築負担金）	21.815.197
◇ 教育費（山王小増築工事、同横道路工事、早川小水道布設工事、五中講堂建設工事、その他小中学校補修工事）	8.510.620
◇ 産業經済費（林道復旧工事、農業及びかんがい用水改良工事）	1.515.925
◇ 市役所費（自動車購入、退職給與金、遺族扶助料）	2.404.403
◇ その他	759.171
◇ 予備費により操作	△ 22.436

議事日程

（二八、一一、一六）

日程1 議案105 昭和二十八年度歳入歳出追加更正豫算
日程2 議案106 同競輪事業費歳入歳出追加更正豫算
日程3 議案107 同水道事業費歳入歳出追加豫算
日程4 議案108 同國民健康保険事業費歳入歳出追加豫算
日程5 議案109 起債について（飯田岡橋）
日程6 議案110 起債について（山王小学校）
日程7 議案111 起債條件の變更について（失業對策事業費）
日程8 議案112 起債條件の變更について（県営小田原漁港修築費負擔金）
日程9 議案113 起債條件の變更について（街路舗装事業費）
日程10 議案114 起債條件の變更について（上水道事業施設擴張工事費）
日程11 議案115 物件の購入について
日程12 議案116 工事の請負について
日程13 議案117 小田原市職員退職手当の臨時措置に関する條例の一部改正
日程14 議案118 小田原市吏員退隠料及び退職給與金、死亡給與金並びに弔祭料及び遺族扶助料條例臨時特例條例の一部改正
日程15 議案119 小田原市國民健康保険條例の一部改正
日程16 議案120 市道路線の認定について
日程17 議案121 市道路線の變更認定について
日程18 議案122 市道路線の廃止について
日程19 諮問6 固定資産評価審査委員会委員の選任について

全国一齊工業調査の実施

十二月三十一日現在

この調査は統計法にもとづいて、毎年行われている指定統計調査の一つであります。工業調査の目的は我國工業の実態を明らかにするために行われる調査によつて得られた統計表は通商産業行政上の資料としてばかりでなく國家の経済施策上の資料として役立ち、また我國の経済事情を世界各國に紹介するための具体的資料となります。なお調査した個々の調査票は、徴税その他直接業者に利害関係を生ずるような目的には使用いたしません。調査期日は十二月三十一日現在調査の範囲は日本標準産業分類による製造業の現場事務所だけを調査します。従つて製造業の非現場、製造問屋、製造小売業、および副業内職の世帯は調査しません。また修理業も調査しません。調査の方法その他御不明の点は調査員又は市の庶務課統計係にお問合せ願います。

基本選擧人名簿の確定

去る九月十五日現在で調製いたしました基本選擧人名簿の登録者数が十二月二十日、次のとおり確定いたしました。

男 二一、四二五人
女 二三、八五九人
計 四五、二八四人

なお、同時に相模海区漁業調整委員会委員選擧人名簿の登録者数も次のとおり確定いたしました。

男 七三九人
女 四二〇人
法人 六人
計 一、一六五人

年末年始の防犯心得

年末年始は一年中で一番犯罪の多い時期です。警察では特に厳重な警戒取締を行つていますが、市民の皆様も次の諸点に注意し被害を受けないようにしましよう。

玄関、勝手口、湯殿等の防犯

㈠玄関に靴下、下駄、草履を亂雑にぬぎ捨ててある家は狙われ易い。
㈡玄関の方にだけ厳重に施錠してある家は案外裏手に抜け目があり犯人が狙う。
㈢勝手口、湯殿より犯人は侵入する場合が多い。それは寝室より離れている点と設備の不完全が原因している。

便所、硝子戸等の防犯

㈠便所には案外施錠設備が無い家が多い。
㈡便所には硝子戸だけで雨戸のないものが多い。硝子は容易に焼き切ることや外すことによつて鍵がはずれる。

家の周囲の防犯

㈠家の周囲の塀、垣根等は防犯上良い事もあるが、一度これを乗り越えれば通行人に発見される心配がないという欠点もあるので、これは乗越えられないように高くしないと効果がない。
㈡塀、垣根、門に頼り過ぎて戸締りに案外抜けているので注意を要する。

貴重品その他大切な物品の保管

㈠必要以外の現金は必らず金融機関に預けておくこと。
㈡預金通帳の記号は必らず控えておくこと。
㈢貴金属類は施錠のある安全な場所に保管すること。
㈣大切な物を土蔵等に入れて置くのもよいが或る程度母屋に分散しておいた方がよい。

不幸にして犯人に侵入された場合

㈠犯人に侵入されたら徒らに狼狽せず落ちつくこと。
㈡犯人の人相、着衣、言葉のなまりや特徴をよく覚えておくこと。
㈢犯罪の現場はその儘にしておくこと。
㈣警察への届出は迅速にすること。

市役所の年末年始の休み

市役所の執務は十二月二十八日（月曜日）で事務納めとなります。そして翌年一月四日（月曜日）から事務始めとなりますので、その間、十二月二十九日から翌年一月三日までは市役所は休みとなります。市役所に御用の方は、年内早目に済ませて下さい。ただし十二月三十日まで、本庁各支所を通じ、轉出、轉入関係の事務を、また本庁の戸籍係及び各支所では特にやむを得ない事情のある方のために、印鑑証明、戸籍関係、住民登録関係の事務を取扱います。公益質屋は例年の通り三十日まで業務を行います。なお、市役所内の市金庫は二十八日で取扱いを終りますが、督促料、延滞金などの計算を必要としない納税は、市内の市金庫（興信、駿河の両銀行）で三十一日まで取扱います。

民生委員が決まりました

民生委員が新しく去る十二月一日付で厚生大臣から委嘱されましたので、次にその担当地区並びに氏名をお知らせいたします。なお、専門事項（児童母子福祉）担当の民生委員はまだ決定致しませんが決まり次第お知らせ致します。

「緑」1区 國見和宏、2区 木村菊蔵、3区 星崎治千代、4区 關野謙之、5区 林菊蔵、6区 中山堯、7区 竹内末人、「新玉」8区 堀江ふく、9区 三浦忠蔵、10区 瀧口順良、11区 廣川照一、12区 杉崎一雄、13区 神谷島治、14区 石崎敏治「万年」15区 成島正二、16区 山室榮蔵、17区 木野村莊吉、18区 小澤信芳、19区 浅田雄二、20区 安井徳三郎、21区 浅倉彌四郎、22区 村上富二、23区 渡辺市五郎、24区 木村正枝、25区 津山義嗣、26区 小西弘子、27区 難波澄「十字」28区 押田仙吉、29区 東海俊美、30区 春日俊雄、31区 木村作助、32区 宮澤久万象、鞠川康英「足柄」33区 關野元治、34区 田島政次、35区 垂木龍三、36区 須藤卯之助、37区 常盤平一郎「芦子」38区 蔦野惠盛、39区 府川新之助、40区 岡田勝、増田幸運、41区 諏訪部兼吉「二川」42区 別生ヤス、43区 杉田幾蔵、44区 中島稲ノ助「富水」45区 小澤德太郎、津田清、46区 加藤忠之助、47区 香川房吉、48区 石綿利助、49区 村越喜平、50区 椎野善太郎、51区 石田角次郎、52区 關田辰五郎、53区 荒井正一「久野」54区 一寸木壹雄、55区 鈴木松之助、56区 初瀬川晴吉、57区 下田定次郎「大窪」58区 山田雄吉、59区 市川將貴、60区 青木賢二、61区 高井英吾、62区 原宗蔡、箱根療養所 遠藤保喜・63区 木村喜作、64区 秋山淺五郎「早川」65区 太田丑五郎、加藤允益、66区 爲末弘、石川力太郎「山王一色」67区 曾我莊吉、68区 都築誠眞、69区 小澤富美子、70区 柴田武翁、71区 劔持貞雄「下府中」下堀中里 志村喜作、矢作上鴨宮 高橋久太郎、中新田下新田 杉浦若三郎、西組 星崎俊彦、駅前 飯山勝五郎「櫻井」東栢山 榮重成、西栢山 府川憲治、曾比 桐原正瑞、横山愛

尊徳記念館建設事業

尊徳百年祭を期して誕生地に建設

小田原市が生んだ世界的偉人二宮尊徳先生の偉業を顕揚するために、昭和三十年の百年祭を期してその誕生地栢山に尊徳記念館を建設しようとする事業は、神奈川県と小田原市との合同事業として本年七月二十一日尊徳記念館建設期成会を結成し小田原市教育委員会に事務局を置いて、諸準備をすすめてきましたが、此の程、会長、副会長、顧問、常任理事、理事、幹事、事務局員等の役員の陣容も本極りとなり、事業方針も確立いたしましたので、來春匆々より活潑な本格的活動に入り、募金を開始することになりました。

この事業の完遂には、何といつても郷土小田原市民の熱意と後援が根幹となるのでありますから、市民各位は左記要項御高覧の上深い御理解と御協力とをお願い申し上げます。

○二宮尊徳記念館建設趣意書

二宮金次郎先生は、幼時より具さに生活の艱難を嘗めて家を興し、農村を復興し、終生經世済民に挺身し、報徳の教を創造した近世日本の生んだ最も民主的な世界的偉人であります。

新生日本興隆のために、道義の高揚と國民經済の自救自立を要望せらるる今日、尊徳先生の偉業を顕彰すると共に、その足跡を訪ねて、全國より遊々その生誕地に來往せらるる人々のために、尊徳記念館を建設する儀は多年に亘り各方面より要望せられたのであります。

先生は、今を距る百七十年、神奈川縣小田原市栢山の里に生れ、七十年の生涯を終る迄、勤倹力行自ら立身榮達を斥け、終始農民の父となり、友となり、その先覚者として一生を産業の開発と民生の安定に捧げたのであります。

小田原の地には今なお先生誕生の生家があり、遺物遺品の残るものも多くこの先哲の遺徳を偲ぶかずかずの遺蹟と共に、永くその余薫を放つております。

来る昭和三十年は先生が世を去られてから百年祭に当りますので、その記念事業として、世界に誇る平和的民主的偉人の顕彰と全國民の篤志に訴え、その浄財により記念館建設の実現を期したいと念願する次第であります。

○建設計画

一　建設位置　小田原市栢山二〇六四（二宮尊徳誕生地）

二　名称　尊徳記念館

三　敷地面積　一一一〇坪

四　施設

本館	一七二、五坪
宿泊所	一八六、〇坪
遺品陳列館	二四坪
附帯施設	一四坪
合計	二九六、五坪

五　建設費総額　二千万円

○記念館事業計画

一、二宮尊徳の偉業を顕彰する。

二、二宮尊徳に関する資料の蒐集、整理、刊行を行う。

三、遺蹟観察者に宿泊その他の便宜を計る。

四、諸会合、講習会に会場使用の便宜を計る。

○募金要綱

一、募集金額　二千万円

二、募集期限　昭和二十九年五月末日

三、寄附申込先　小田原市教育委員会内尊徳記念館建設期成会事務局

四、送金方法　振替（横濱二十六番）又は現金為替何れでも可

送金料は本会負擔

五、取扱銀行　横濱興信銀行本支店

六、應募金額　應分

公営住宅の建設

昭和二十八年度公営住宅の敷地はいよいよ本ぎまりとなりましたので、第一種及び第二種木造住宅並びに特殊耐火構造住宅を合せて七十九戸の公営住宅を次のように建設することとし、明春匆々工事に着手することとなりました。

①蓮正寺六百四十七番地（國産寮あと）

○第一種木造住宅（建坪十坪五合）四十戸

○特殊耐火構造住宅（建坪十三坪）八戸

なお、同地域には右とは別に県営住宅（特殊耐火構造住宅）十二戸が建設される豫定

②蓮正寺六百二番地

○第一種木造住宅　十六戸

○第二種木造住宅（建坪八坪五合）十五戸

完納へもう一段の御協力を

12月10日現在　供出成績　九六・一％

本年産米事情については、さきに市報で御報告いたしましたとおり豫想外の不作でありましたので本市の割当供出確保數量四、七二四石（基本供出量四、一六二石、超過供出量五六二石）は本市の實情よりみて、相当困難な事情にあつたのであります。

本市といたしましては代表者会議に數回はかり検討協議の末、個人別供出割当を作成し、去る十二月四日の農業生産組合長会議に指示いたしましたが幸い皆々様の御協力を得て供出は順調に進み十二月十日現在既に四、五四二石（九六・一％）の實績をあげ得ましたことを厚く御禮申上げます。去る十二月九日、鈴木市長、山橋議長は市内各地區を訪れ、供米完遂の協力方を御願いし、なお農民各位の御労苦に対し謝意を表しました。

今後更に一段の御配慮により本月末までに供出を完納されますよう切に御願いいたします。

第五回小田原市一週驛伝大会

〜明春一月十日〜

小田原市、小田原市教育委員会及び小田原市青年團連盟主催により恒例の第五回小田原市一周駅伝大会が、明春一月十日（日）を期して開催されます。主管は小田原市陸上競技協会で小田原労政事務所と小田原地方労働組合協議会が後援しております。

参加選手の第一部は市内青年團、第二部は小田原市及び足柄上、下郡内實業団で各部共一團体一チームにより次の八區間を走破します。

（第一區）—市役所前—板橋旧道—療養所前—早川口—（第二區）—早川旧道—国道左折—縣道—オリオン座前—山本旅館前—（第三區）—酒匂橋—鴨宮驛前—（第四區）—多古—蓮正寺—富水駅前—（第五區）—東栢山—西栢山—飯田岡駅前—北ノ窪—穴部駅前—（第六區）—多古—久野坂下—下宿—（第七區）—仲宿—学校前左折—川端—井細田富士フイルム前—（第八區）—寺町—廣小路—須藤町—地方事務所—市役所前

冬季農産物品評会審査結果

本市は例年の通り去る十二月一日より四日まで中央公民館において農産物品評会を開催いたしましたが本年は氣象條件が不良で特に穀類の被害が甚しかつたので出品点數もかなりの減少を豫想されましたが、出品点數五九九点をかぞえ、且つ優秀品も多く出品されました。

縣審査員の嚴正な審査の結果左の通り入賞者を決定し、四日午前十時より市役所議場において褒賞の式を行いました。

優等

（米）中新田、穂谷野一家
（みかん）丸上、富川仁夫
（大根）北久保、伊島ヨシ
（人参）町田、林文治

壹等

（米）蓮正寺、古澤新作
（甘藷）坊所、星野昌司
（みかん）向口、青木宏悦
（〃）丸二、丹羽廣吉
（〃）向口、青木森之助
（〃）丸西、鈴木浩二
（柿）今井、原正夫
（卵）風祭、西松原達夫
（花卉）中里第一村田俊夫
（白菜）町田、神谷忠一郎
（ちしや）中島、細田一郎
（葱）多古、米山孝一
（大根）町田、神谷郁
（〃）中里第一、濱野清吉
（人参）今井、柳川繁雄
（〃）今井、柳川秀雄
（午蒡）穴部下田伊三郎
（〃）穴部、國原定雄
（小かぶ）今井柳川繁雄
（醤油）栢山下組米山徳次

なお出品評会に出品し、その総合成績が優秀であつた中島生産組合へ團体賞が授與され、丸上、富川仁夫氏に知事賞が交付されました。

常任委員会

▲十一月九日　第十四回建設委員会
昭和二十八年度水道起債について外二十件

▲十一月九日　第二十回経済委員会
柳屋ポマード工場招致について外六件

▲十一月十二日　第十四回文教委員会
城東高校工業科設置に伴う寄附金について外三件

▲十一月十二日　第十四回総務委員会
昭和二十八年度小田原市歳入歳出追加更正豫算案外十七件

▲十一月二十五日　第十五回総務委員会
特別職の公傷費用について外四件

▲十一月二十七日　第二十回経済委員会
屎尿貯溜槽設置について外四件

▲十二月一日　第十五回文教委員会
城東高校工業科設置に伴う寄附金について外一件

▲十二月七日　第十五回建設委員会
鐵道用地の借用出願について外四件

▲十二月九日　第十六回厚生委員会
屎尿處理について外七件

市政短信

▼…市勢伸長委員

町村合併促進法に呼應し懸案の隣接町村との合併を検討するために、市長の諮問機関として市勢伸張委員を設けることとなり、十二月一日付をもつて次の議員諸氏が委員に委嘱された。

山橋勝藏、米山要助
小石川寅吉、渡辺久吉
小林彦右衛門、原勇、
仙石武雄、井上孝之助
押田仙吉、井上政重、
小澤三郎

十二月七日市議会議場で第一回会合を行い、市側から鈴木市長以下出席して次のことについて審議した。

①町村合併促進法施行に伴う近隣町村の動きについて

②神奈川県合併促進審議会委員の選考状況について

▼…國連と人権研究会及び國連協会々員倍加運動映画会

十二月十日は世界人権宣言が國連で採擇された記念日であるので國連協会県本部小田原支部（支部長鈴木市長）では午後三時から五時三十分まで中央公民館で「國連と人権研究会」を開催、支部長、県本部事務局長、横濱地方法務局長、同支局管内人権擁護委員など出席し参集者約三十名（各界代表）と熱心に研究討議を重ねた。

なお、当日は引き續いて國連協会々員倍加運動の一環として國連に對する理解、協力の体制を確立する目的のもとに「國連協会々員倍加運動映畫会」を開催した。

▼…市民の集い

小田原市廣報委員会主催により、十二月三日、山王昌福院で、山王地区市民の集いが開かれた。話題は市政一般で、参集者は天候が悪かつたため約二十名であつた。

▼…市制施行記念日

十二月二十日は小田原市が市制を施行してから十二周年の記念すべき日でした。西湘一帯の中心都市として小田原が文化、産業、教育、観光等の各面で愈々発展することを大いに期待し念願してやみません。

▼…新生活運動推進大会

十二月十七日午後一時から中央公民館で開催、小田原市新生活運動状況の報告、実情発表あつて後研究討議を重ね、午後四時閉会した。この運動は日常生活の改善合理化を図り、無駄を省き、生活環境をよくして、住みよい家庭、社会を建設しようとするものです。

▼…建設工事

十二月四日入札のあつた次の請負工事はそれぞれ着手しました。

①蓮正寺飯田岡線道路改良工事、着工十二月十日、延長一六九米、土留石垣三三一、四平方米

②西栢山線道路改良工事　着工十二月十日、延長二三二米、土留石垣二二〇、四平方米

現在繼續中の工事として次のものがあります（前号掲載済みのものを除く）

①昭和二十八年度水の公園土留石垣工事　十一月十日着工一月十日完成豫定、延長一〇九米、法高三米

②昭和二十八年度総合運動場工事（請負工事分）切土三五九七一立方米

なお宮窪道路工事は十二月十日に瓦長屋線道路新設工事は十二月十四日にそれぞれ竣工しました。

◇

失業對策事業十一月分作業実績は次の通り

作業箇所	九十カ所
砂利採取量	三六立方米
砂〃	一〇〃
割石〃	三二〇個
玉石〃	一五三〃
栗石〃	二四〃
切込〃	六〇立方米

作業内譯（十一月中竣工）

①久野線土留石垣
②十字幸線下水改良工事
③宮窪地内路面拵え
④久野線路面直し
⑤久野線土留石垣
⑥中島地内路面直し
⑦久野線路面直し
⑧山王原地内土留石垣
⑨緑荻窪線路面直し

▼…城址公園にオツトセイの仲間入り

十二月十一日、城址公園に可愛いいオスのオツトセイが仲間入りをした。このオツトセイは十二月二日宮城県金華山沖でさんまの網にかかつた生後三カ月のもので、伊東市第一共盛丸船主石井重勇氏から寄贈を受けたもの

▼…電波にのつた小田原かまぼこ

NHKでは全國的に有名な「小田原かまぼこ」の製造工程を録音、十二月十九日午後五時三十分から二十五分間、関東の皆様への時間にNHK第一放送で放送された。

市税滞納整理に御協力下さい

—学校も—道路も—橋も—市税から—

昭和二十八年十月二十五日現在における市税の實調定額に對する未收入額は二千四百五十九万三千八百九十七円に達し市財政の運營に大きな支障を來しますので年内、一千万円の整理を目指して十月二十六日から十二月二十六日まで特別徴收強化期間とし鋭意徴收に努めてきましたところ、市民の皆様の絶大な御協力により十二月十九日までに約九百万円を徴收することができました。

更に二十六日までに約百万の滞納金を整理すべく努力しておりますので愛市の精神に基づき市民の皆様の一層の御協力をお願い致します。

近く授産場新設

婦人共同作業所は、少額所得者のために婦人の内職あつせん、施設の利用など相当の効果をあげて參りましたが、最近の庶民生活の實情から見て、これを生活保護法に基ずく授産場として再建することとし國、県の補助を得て次の場所に授産場を新設し、内職あつせん、指導のセンターとすることになりました。

敷地　万年四丁目五百八十三番地（建坪五十三坪）收容人員三十名、作業種目は、古衣補修、ベビー服、オーバオール、手巻ハンカチ、四ツ切袋貼、作業器具はミシン二十一台、断物八台、電氣アイロン六台を備付ける豫定。

おことわり　今月再び「各課の紹介」を休載致します

小田原競輪

1月

14　15　16
17　18　19

主催　小田原市